

“主語+動詞+人+to～”の文型をとらない動詞

“主語+…(動詞)+人+to～(動詞)”のように、動詞の直後に人を置きその後にto不定詞を置くこの文型は「主語は人に～するよう/～することを…する」を表現するポピュラーな文型ですが、この文型をとりそうで、しかし実はとらない動詞があります。その動詞には『直後に人を置かない』もの、あるいは『直後に人は置くがその後にto不定詞は伴わない』ものなどがあります。これは覚えるしかありませんので例文を含めてご紹介します。

- admit
(認める) She admitted that her son made a mistake. 彼女は息子が間違いを犯した事を認めた。
She admitted to her son's mistake. 彼女は息子の間違いを認めた。
* この上文のtoは to不定詞 ではなく前置詞で、直後には名詞を伴います。
X: She admitted her son to make a mistake. <= この使い方はしません!!!
- demand
(強く要求する) My boss demanded (that) I should participate in the meeting.
上司は私に会議に参加するよう強く要求した。
X: My boss demanded me to participate in …. <= この使い方はしません!!!
- excuse
(許す) I will excuse him for forgetting the appointment.
彼が約束を忘れていたことは許すつもりだ。
“excuse+人+for+～ing”の形をとります。
- explain
(説明する) He explained the reason to me. 彼はその理由を私に説明した。
”explain”は直後に『人』ではなく『説明する内容を示す目的語』を置き、
“主語+explain+目的語+to+人”の形をとります。
- forgive
(許す) I will forgive my son for breaking my favorite carved wooden figure.
私のお気に入りの木彫りの像を壊した息子を私は許すだろう。
“forgive+人+for+～ing”の形をとります。
- hope
(願う/望む) I hope to see you again. また会えるといいですね。
I hope for you to get better soon. あなたがすぐに良くなる事を願っています。
“hope+to+～(動詞)”や“hope+for+人+to+～(動詞)”の形をとります。
- prohibit
(禁止する) He prohibited all the members from accessing the database.
彼は全てのメンバーにそのデータベースにアクセスする事を禁止した。
“prohibit+人+from+～ing”の形をとります。
- propose
(提案する) He proposed a new idea to me. 彼は私に新しいアイデアを提案した。
”propose”は直後に『人』ではなく『提案する内容を示す目的語』を置きます。
- suggest
(提言する/勧める) I would like to suggest he (should) do this job more carefully.
この仕事をする時にはもっと慎重にするように私は彼に提言したい。
“suggest+人+原形動詞”又は“suggest+人+should+原形動詞”の形をとります。
- inform
(知らせる) She informed me of leaving the company. 彼女は退社する事を私に伝えて来た。
“inform+人+of ～ing”の形をとります。

これらの動詞の中には、つい“主語+…(動詞)+人+to～(動詞)”の形をとる動詞と勘違いしてしまいそうになるものもありますので使い方も含めて覚えておきましょう。

= 以上 =